

## 会議詳細決定！日本で開催される過去最大規模のユネスコ会議 「ESDに関するユネスコ世界会議」 開催のお知らせ

11月4日～12日に愛知県名古屋市と岡山県岡山市で開催される「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」は、世界195のユネスコ加盟国から閣僚級をはじめ約2,000人の参加を得て、「国連ESDの10年」（2005年～2014年）を振り返るとともに、2015年以降のESDの更なる推進方法について議論する予定です。

※ESDとは、Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略称です。現代社会における地球規模の課題（環境・貧困・人権・平和・開発等）を自らの問題として捉え、身近なところから行動をおこす力を身につける（think globally, act locally）ことにより、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動を意味しています。

### 【世界会議のストリーミング配信（予定）】

世界会議の主な会議の様子は、ライブ及びオンデマンドでストリーミング配信される予定です。詳しくはESDポータルサイト(<http://www.esd-jpnatcom.jp/>)をご覧ください。

#### (1) 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合（愛知県名古屋市）

日程：11月10日（月）～12日（水）

会場：名古屋国際会議場

[http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/20141110\\_kakuryoukyu/index.html](http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/20141110_kakuryoukyu/index.html)

#### (2) ステークホルダー※2 の主たる会合（岡山県岡山市）

##### ① ユネスコスクール世界大会

日程：11月5日（水）～8日（土）

会場：ホテルグランヴィア岡山、国立大学法人岡山大学

[http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/20141104\\_okayama/index.html](http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/20141104_okayama/index.html)

##### ② ユネスコESDユース・コンファレンス

日程：11月7日（金）

会場：岡山国際交流センター

[http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/20141104\\_okayama/conference.html](http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/20141104_okayama/conference.html)

##### ③ 持続可能な開発のための教育に関する拠点（RCE）の会議

日程：11月4日（火）～7日（金）

会場：岡山コンベンションセンター

[http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/20141104\\_okayama/rce.html](http://www.esd-jpnatcom.jp/conference/20141104_okayama/rce.html)



※2 ステークホルダーとは、国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPO等を想定

また、世界会議の成果を日本の関係者で共有し、今後の国内でのESDの推進方策を議論する「フォローアップ会合」が、11月13日に名古屋国際会議場で開催されます。

## 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合(愛知県名古屋市)について

### 【世界会議の4つの目標】

1. 10年間の成果から
2. 万人にとってよりよい未来を築くための教育の新たな方向付け
3. 持続可能な開発のための行動促進
4. ポスト2014のためのESDアジェンダの策定

### 【全体会合】

1. 開会全体会合: DESD(国連ESDの10年)の成果を検証すると共に、世界の現状に対するESDの急務課題を確認する。
2. 全体会合Ⅱ: 持続可能性に関連する事項を教育に取り込むことが質の高い教育の実現に寄与するという側面からESDの意義を考察する。地球市民教育に対するESDの貢献を具体化する。
3. 全体会合Ⅲ: 気候変動や防災(災害リスク軽減)、生物多様性といったESDならではの特徴に光を当てる。
4. 閉会全体会合: 世界会議で得た成果から、ポスト2014年のESD活動について協議する。

### 【ハイレベル円卓会議】

ユネスコ加盟国の閣僚級代表者等が出席し、ESDの政策的な取組について議論する。イリナ・ボコバユネスコ事務局長と下村博文 文部科学大臣が共同議長を務める予定。

### 【ワークショップ(合計34件のうち日本関係機関がコーディネーターを務めるもの4件)】

- クラスター1.(計7件) 国立教育政策研究所、地球環境戦略研究機関
- クラスター2.(計9件) 岡山市
- クラスター3.(計11件)
- クラスター4.(計7件) Esdユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会及びRCE中部

### 【サイドイベント(合計24件予定)】

### ①ユネスコスクール世界大会

#### ○Student(高校生)フォーラム 11/5(水)-7(金)

参加者: 海外31か国から124名、日本9地域から36名の高校生 計160名

事業概要: 高校生がESDの実践で得た成果を共有し、2015年以降のESD理念の更なる普及とユネスコスクールを通じた連帯の一層の深化において高校生が果たす役割等について宣言を策定する。／「宣言」は世界会議でも共有する。／フォーラムの運営も高校生が担当する。／日本・海外各1チームが世界会議に出席する。

#### ○教員フォーラム 11/7(金)

参加者: 高校生フォーラム引率教員40名

事業概要: 高校生フォーラムの議論も踏まえ、今後のESD推進に果たす教員の役割等について議論する。

#### ○全国大会 11/8(土)

参加者: 国内外のユネスコスクール教員等 約800名

事業概要: ESDの推進拠点としてのユネスコスクールにおけるESDの取組を総括し、2015年以降の活動の更なる発展に向けた方策を議論し、宣言を策定する。／「宣言」は世界会議でも共有する。

#### ○講演会・交流会 11/7(金)

参加者: 世界各国の18-35歳のESD実践者等52名

事業概要: 安西祐一郎日本ユネスコ国内委員会会長による講演会及び参加者相互の交流会を開催する。

### ②ユネスコESDユース・コンファレンス 11/7(金)

参加者: 世界各国の18-35歳のESD実践者等52名

事業概要: 各人の活動成果を共有した上で、若者のESDへの関与促進に向けた宣言を策定する。／「宣言」は世界会議でも共有する。／会議参加者は全員、世界会議に参加する。

### ③持続可能な開発のための教育に関する拠点(RCE)の会議 11/4(火)-7(金)

参加者: ESD研究者、国連大学関係者、ユネスコ関係者、NPO/NGO、市民団体等300名

事業概要: RCEの活動の成果と課題を振り返り、RCEが2015年以降も効果的に実施していけるESDの具体的な取組について検討する。

ESDユネスコ世界会議に関する詳細は、こちらをご欄ください。

ESDポータルサイト: <https://www.esd-jpnatcom.jp/>  
ESDフェイスブック: <https://www.facebook.com/esd.jpnatcom>

【本件に関するお問い合わせ先】

文部科学省 国際統括官付 ESDユネスコ世界会議準備室 担当: 小野、江幡、大智

TEL: 03-6734-4956 FAX: 03-6734-3679